

2

難題だった目の下の小ジワもスッキリ。 自分の血液で肌を再生する注目の療法

聖心
美容外科
全国8院

肌そのものの修復力を利用して、

肌をよみがえらせる——いま、美容医療の世界で主流となりつつある考え方が、血小板。「聖心美容外科」で行っている「PRP皮膚再生療法」は、その血小板の働きを利用して、ダメージを受けた肌を生き生きと再生しよう

という療法です。

血小板というと、私たちがよく知っているのは、血管が傷ついて出血したときに、出血を止める働きをするということぐらいですが、実は、そればかりでなく、このとき血小板から放出されるさまざまな成長因子によって、コラーゲンやヒアルロン

酸の生成が促進されたり、さらには

皮膚細胞そのものの増殖も促されたりすることが、比較的最近の研究で明らかになったのです。

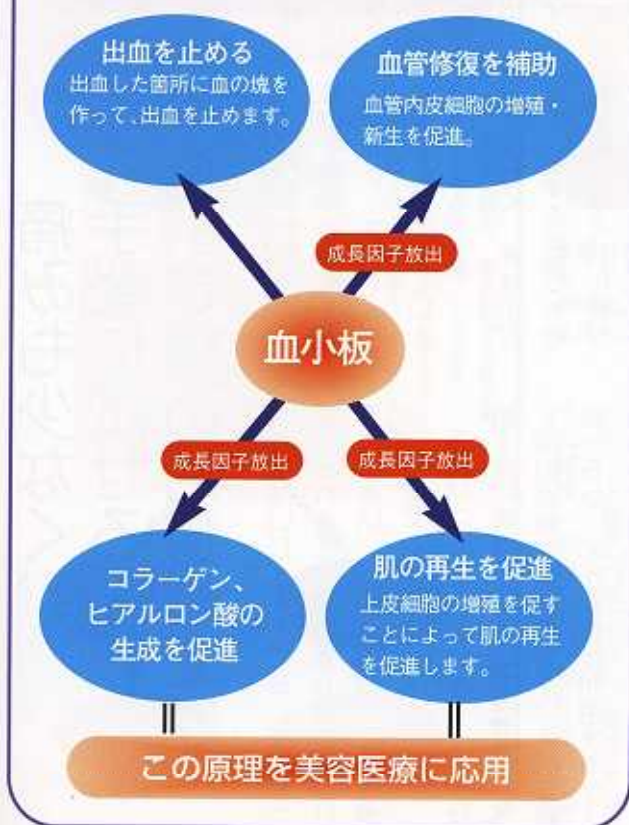
この働きを治療に役立てようという動きは、最初、歯科医療の分野で始まり、外科治療にも活用されるようになり、ここ2〜3年で、美容外科や美容皮膚科でも、注目されるようになりました。

**自分の血液だから
体にも安全、効果も大きい**

「この療法の長所は、自分の血液から採取した血小板を使うということにあります。異物を挿入したりする療法と違い、あくまで自分の体の成分を使うのですから、アレルギーや拒絶反応の心配もありません。体にも安全な治療法と言えますね」（鎌倉達郎統括院長）

問題は、血液からいかに効率よく、

血小板のはたらきとは？



PRP皮膚再生療法の流れ

1 カウンセリング



まずは担当の医師のカウンセリングを受けます。訪れる患者さんの悩みの大半は、目の下の小ジワやちりめんジワです。

2 採血

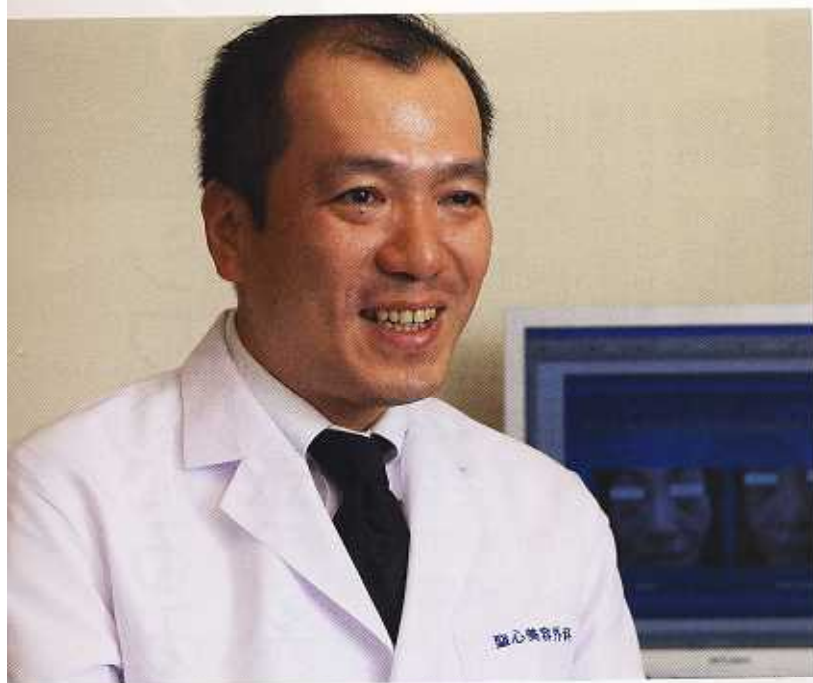


治療に使うのは自分の血液。血小板を抽出するために、16ccほどを採血します。

3 血液を遠心分離機に



採血した血液を遠心分離機にかけ、赤血球と血小板を分離します。所要時間、約10分。



クリニックMEMO

札幌、東京、横浜、熱海、名古屋、大阪、広島、福岡の8院
 住所(東京院)／東京都港区六本木6-6-9
 ピラミデ2F
 診療時間／10:00~19:00
 電話受付は20:00まで 無休
 TEL／0120-488-714
 URL／www.biyougeka.com

「この治療は、30代、40代から始めたほうが、効果が上がります」と鎌倉統括院長。

レーザーなどの治療が困難だった目の下や首のまわりにも威力を発揮

PRP皮膚再生療法がもつとも威力を発揮するのは、目の下や首の周りといった、デリケートな部分に発生する小シワです。

シワの治療には、通常、レーザーなどを照射する方法が採られますが、こうしたデリケートな部位には、レーザー治療は困難。しかし、PRPなら、注射器で血小板を注入するだけ。体への負担もないので、安心し

多量の血小板を含む血漿（PRP）多血小板血漿を分離するか、という技術面にありました。しかし、この課題は、血液を遠心分離器で分離する

際に使う試験管に特殊なフィルターを採用することで、解消。PRP療法は、そうしたハイテクがもたらした、美容医療の成果でもあるのです。

効果は2週間後ぐらいから ゆっくりと現れてきます



Before



After

手術などによる治療と違って、PRP皮膚再生療法の効果は、2週間後ぐらいからゆっくり、自然に現れ始めます。治療翌日からガラリと変身、

という効果ではないので、周囲の目も気になりません。一度の治療で、効果は2~3年持続。ダウンタイムが2~3日と短いのも特徴です。



「聖心美容外科」東京院の院内。落ち着いた雰囲気で診察が受けられるよう、プライバシーにも配慮が……。

て治療できません（鎌倉統括院長）
 難題とされてきた目の下のちりめんシワも、この方法ならスッキリ解消。アンチ・エイジング治療の目玉として、注目を集めている療法です。

5 PRPを注入



注射器でPRPを気になる部分、数カ所に注入して終了。採血からここまで、トータル30分で治療は終わりです。

4 PRPを抽出



特殊なフィルターが付いたスピッツ（試験管）の中で分離した血液。中央のフィルターの上部分が、多血小板血漿です。